

議長定例記者会見 会見録

日時：令和6年8月8日 10時30分～

場所：全員協議会室

1 発表事項

- 「みえ高校生県議会」の開催について
- 三重県議会インターンシップ実習生の決定について

2 質疑項目

- 「みえ高校生県議会」の開催について
- 三重県議会インターンシップ実習生の決定について
- 全国知事会議における緊急宣言について

1 発表事項

- 「みえ高校生県議会」の開催について

(議長) 皆さんおはようございます。これより議長定例会見を始めさせていただきます。発表事項の前に、現在開催中のパリオリンピックにおきまして、体操男子団体総合で津市出身の杉野正堯選手が金メダルを、そしてフェンシング男子エペ団体で鳥羽市出身の山田優選手が銀メダルを獲得されましたこと、また、レスリング女子フリースタイル53キログ級で四日市市出身の藤波朱理さんが決勝に進出し、金メダルまたは銀メダルの獲得が確実になりましたこと、誠にめでたうございます。そしてまた今回、多くの三重県からの選手がパリオリンピックで頑張っていたいておりますけれども、残念ながら、メダル獲得には至らなかった選手たちも多く感動を三重県民に与えていただいております。そういった活躍をさせていただいている選手の皆さんに感謝を申し上げたいと思っておりますし、まだまだオリンピックは続きますので、これからの活躍も大いに楽しみにしたいと思っております。それでは発表事項に入ります。本日は、発表事項が二つございます。まず、3月の会見で参加校の募集を発表しました、「みえ高校生県議会」の参加校や質問項目など、その概要が決まりましたので発表させていただきます。具体的な内容につきましては、広聴広報会議議長であります小林副議長から説明させていただきます。よろしく申し上げます。

(副議長) それでは座ったまま失礼いたします。私から、今回で5回目となります「みえ高校生県議会」の概要について、ご説明をいたします。お手元の資料、発表事項1をご覧ください。まず改めまして、1の目的です。高校生に議会活動を体験してもらうことで議会に対する関心を高めていただくとともに、高校生のご意見を直接聴くことで議会での議論に反映していくことであります。

日時は、3にごございますとおり、今年8月21日水曜日、午前11時40分から、場所は、4にありますとおり、本県議会議事堂議場であります。5の参加者ですが、資料別紙に記載の県内の高等学校11校に通う生徒36名と、県議会議員17名、知事等であります。6にごございますように、当日は各校の生徒が議員役となって資料別紙に掲げた質問を行い、答弁は所管の常任委員長が行うこととしております。また、2名の生徒には交代で議長役をしていただきます。「その他」のところですが、「みえ高校生県議会」は公開とし、インターネットによる生中継や録画配信も行います。また、議場で傍聴していただくこともできます。次代を担う高校生たちの熱い思い、議論を、一人でも多くの方にご覧いただければと存じます。つきましては、報道関係の皆さま方におかれましては、事前の情報発信や当日の取材につきまして、何卒ご協力のほどをよろしくお願い申し上げます。なお、当日の参加生徒への取材につきましては、午後の休憩時間に5階の議員サロンにて取材の場を設けますので、ご協力をお願いいたします。私からは以上です。

(議長) 高校生県議会に関しまして、私からも少し説明をさせていただきます。私の所信表明において、高校生県議会に関し、高校生たちが提案してくれる施策、思いを具体的な形として表すことができる仕組みを作っていきたいと申し上げました。このことに関し、広聴広報会議での検討も踏まえ、高校生県議会後に開催される常任委員会において、各委員長は委員間討議で取り上げ、提案いただいた意見の取扱い等を協議することとし、その結果を高校生たちにフィードバックすることとしました。委員会で協議する意見への対応例としては、高校生たちの意見、その内容によりますが、例えば、委員長報告に入れる、あるいは、意見書・決議にする、執行部に申し入れを行う、高校生の意見の実現に向けた助言をするなどがあると考えております。6月に開催した委員長会議では、この具体例を示した上で、私から各委員長に対して要請をしたところであります。私としては、こういったことを通じて、次代を担う高校生たちに、大人が、議員が、あなたたちの思いを本気で受けとめているんだということを伝えていきたいと考えていますし、さまざまな形はあると思いますが、議会に想いを届ければ自分たちの暮らしは変えられるんだということを伝えることができると考えております。みえ高校生県議会の開催については以上です。

○三重県議会インターンシップ実習生の決定について

(議長) 次に、6月7日の会見で募集について発表いたしました、令和6年度三重県議会インターンシップ実習生が決定しましたので、発表させていただきます。お手元の資料、発表事項2をご覧ください。1の目的は、6月7日の会見で発表しておりますので省略させていただきます、決定した実習生についてから

説明いたします。6月7日から7月5日まで募集を行ったところ、大学院側からの問い合わせは何件かあったとのことですが、最終的には1名の応募があり、この方を実習生として受け入れることを決定いたしました。受け入れを決定したインターンシップ実習生は、2の(1)にございますとおり、三重大学大学院 人文社会科学研究科の別所佑真さん、22歳です。なお、実習生の年齢は本日現在の年齢となります。(2)の実習期間は9月10日火曜日から9月13日金曜日、9月17日火曜日から9月20日金曜日、9月25日水曜日、10月9日水曜日の計10日間です。実習内容は(3)のとおり、議員との意見交換などを予定しています。実習生への受入書交付式ですが、3にございますように、9月10日火曜日13時から議事堂3階議長応接室にて行います。裏面に続きます。実習生による実習内容の報告会は、10月15日火曜日予算決算常任委員会終了後、議事堂3階全員協議会室、この場所で公開にて行う予定でございます。報道機関の皆さんにおかれましては、受入書交付式や報告会の取材につきまして、何卒ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。本日の発表事項は以上です。

2 質疑応答

〇みえ高校生県議会について

(質問) 高校生県議会についてお伺いいたします。参加校11校、あと参加者、人数というのは、これは応募によって決まったということでしょうか。参加校の決定はどういう経緯で。

(副議長) これは県内すべての高等学校、それから特別支援学校高等部、および高等専門学校に募集通知を出させていただき、公募をさせていただきました。その中で応募いただいた学校が11校ということで、その11校すべて参加校とさせていただきました。

(質問) 質問項目等はそれぞれの学校から出てきたものと捉えてよろしいでしょうか。

(副議長) そうですね。こちらからも6常任委員会ありますので、それぞれ所管がかぶらないような形でテーマを出していただいて、その後の説明会等で細部にわたり調整をさせていただいたところであります。

(質問) 改めてお尋ねしますが、今年の高校生県議会はこれまでとちょっと違うところとか、議長のほうから先ほど高校生たちの意見をどう反映するのかということはおっしゃっていただきましたけれども、高校生県議会自体の内容

で例年と違うことであつたりとか、少し工夫したりとか。

(副議長) 前回と違うところといいますと、高校生の方の質問時間なんです、前は質問4分、答弁4分、質問と再質問含めて合計10分ぐらいとさせていただいておつたのが、今回は質問時間を増やしまして、答弁6分、再質問を含めて合計15分に拡大をさせていただきました。このあたりは前回と違うところだと思います。

(質問) 質問と答弁を合わせて10分だったのを15分に増やした。この狙いというか。

(副議長) 前回の高校生県議会の際に、質問と答弁で持ち時間を使い切る学校さんが多かったというところで、なかなか再質問ができるような時間が持てなかった。そういった中で、再質問ができるような時間を増やしたらどうだつていうご意見もありましたので、今回はこういった意見も受けて、再質問ができるようにこういった時間配分をさせていただいたところでありませう。

(質問) 広聴広報会議でそういったご意見があつたということ。

(副議長) そうです。

(質問) 議長にもお尋ねするんですけど、すでに高校生の意見を反映するようになるといふことで、各常任委員長にお伝えになつたということですけど。

(議長) そうですね。6月の委員長会議の際に、これまでも高校生県議会にて提案された内容を議員個々が、例えば個々の一般質問に取り上げたりとか、その提案内容を議員が個人的に調査をして政策に反映したりだとか、そういったことはあつたんですが、やっぱり議会としてどう取り組むかということになりますと、常任委員会の中でしっかり委員会で協議をさせていただいて、そこで議会として取りまとめをしていくと。具体的に実現できるものは実現できる方向でしっかり議論していただくというのは大事かなと思つていまして、その委員会の中で、個々にじゃなくて委員会として取り上げるようにということでお話をさせていただきました。

(質問) お伝えした内容としては、委員間討議で取り上げてもらいたい、まずは。その結果を高校生に知らせてほしいという趣旨でよかつたですかね。

(議長) そうですね。まずその内容を委員間討議でしっかり議論していただいた上で、具体的にどうするかっていうことをまず考えていただいて、例えばそれを意見書として国へ言っていく話なのか、あるいは執行部に対してしっかり提案、委員長報告とかそういう形で中身に入れていくものなのか、あるいは具体的に高校生自体が行動を起こしたらもっとより良いんじゃないかっていう話があれば、それはフィードバックするだとか、どういう形の取り組みをするかっていうことをしっかり高校生に伝えていきたいと思います。

(質問) 要望したのか、委員長報告をしたのか、意見書としてどうなりましたとかっていう全体的なことも含めて、結果を高校生にお伝えしてほしいということですか。

(議長) はい。

○三重県議会インターンシップ実習生の決定について

(質問) インターンシップ実習生の関係で、別所さんは普段何を研究なさっているとかですね、どのようなことに興味があって志望されたかというのがありますか。

(議長) 今回インターンシップに応募された中で、別所さん自身は、大学院では行政における住民参加について研究していると聞いています。その中で、インターンシップを通じて、住民の代表である議員との対話により、住民参加の理解を深め、研究に生かしていきたいと、志望動機を言っていて、卒業後は地域に貢献できる人になりたい、議会独自の視点を理解し、自身のキャリア形成につなげたいということを言われておりますので、こういったことを目的に応募されたと理解しています。

(質問) 具体的に、住民参加とは、どういう研究をなさっているとかありますか。

(議長) そのあたりは本人が来てからですね、我々も逆に聞かせていただいて。いろんな手法もありますし、あるいは歴史もありますし、住民参加というと、どういう視点でやられているかというのは幅広いので、しっかり、逆に我々も教えていただけることは教えていただきながら、そしてまた我々からお話できることはしていきたいなと思っています。

(質問) 募集の期間はいつからいつまで。

(議長) 6月7日から7月5日まで募集を行い、1名の申し込みがあったということです。

(質問) 約1ヶ月ということで、今年は実習に関して、1日換算でお支払いするという新しい取り組みということでしたが、まず、学校から問い合わせが何件あったということで、これはどんな問い合わせだったのですか。

(議長) いろいろあるんですけども、基本的に「学生へしっかり周知します」というようなことを、内容確認した上で言っていたところがあります。そんな中で、例えば、近くのホテルの紹介、どういうところに泊まれますかとかそういうものもありましたし、他のインターンシップの期間と重なっている部分もあるのでなかなか申し込みにくいだとか、あるいは、なかなか提案を発表するのはちょっとハードルが高いのというような相談もあつたりだとか、いろいろ声はいただいたようです。ですけども先ほどお話しいただいたように、今回謝金を支払うようにしたということで、そのことの問い合わせというか、結構応募に前向きな問い合わせがあつたと聞いていますので、そのあたりでは、一定の効果があつたのかなと思っています。

(質問) ハードルが高いというのは、つまり学生にとって最後の報告をするのがちょっと難しいという趣旨ですか。

(議長) そうですね。そういう意見も実際あつたようですので、そのことも含めて今後検討していく必要があるかなと思います。ただ我々も成果物として一定報告をいただくのは必要かなと思っていますので、そういう声もあつたということです。

(質問) できるだけ応募してもらおうということで謝金を導入したと思うんですけど。これやっぱりなかなか集まりにくいというのは、それだけが理由ではないということですね。一人の応募でよかったというか、本来はもう少し応募してもらってもよかったんじゃないかなとかって思うんですけど、ここは受け止めいかがですか。

(議長) 確かに何人かに応募いただけることが望ましいと思っているんですけども、そうは言うものの、募集するときにも少しお話ししたかと思うんですけど、なかなかいま募集条件に合う学生も学生全体が減ってきていますので、そういったことが減ってきているのと、あと他のインターンシップも結構充実

してきているのもありまして、例えば霞ヶ関でのインターンシップとかもあるってことで考えると、なかなか関東からこっちに来ていただくっていうのも難しいっていうのもありますし、いろいろそういう状況があるのかなど。そんな中でもやっぱり費用がかかるのは負担にはなっていたと思いますので、そのことについて今回新たな試みをしたってことへの問い合わせもいくつかあったということを聞きますと、一定の効果があつたかなと思っておりますが、お金の問題だけじゃないんだなというのはもうおっしゃるとおりで、今そういったいろんな要素があるっていうことも含めて、今後の検討課題にしていく必要があるかなと思っております。

（質問）むしろ今回の実習生の方も三重大なので、遠いところから来てこちらに宿泊するというわけでもないのかなと思ったりもしますが。逆にこの方は、各種インターンシップある中で、なぜ三重県議会を選んだっていうのは何か聞いていますか。

（議長）先ほど申し上げた理由っていうか、研究したい課題があつて、そのことを身近なところで確認をしたいということだと思ふんですけど。身近な県議会です。

（質問）地元で身近みたいな感じのところ。

（議長）そうですね。住民参加ということを通じて行政を学ぶ中でやられてることですと、自分の一番身近な議会に関心を持たれるっていうのは当然なのかなと思ふます。

（質問）ありがとうございました。

（質問）他に質問のある方ありますでしょうか。では発表事項以外の質問に移らせていただきます。

○全国知事会議における緊急宣言について

（質問）先週の1日と2日ですかね、全国知事会議が福井市で開かれまして、一見知事も出席されました。知事会議では緊急宣言の内容を巡って東京都などからの反発もあつたということで、一見知事に関しては緊急宣言には賛意を示されてということもあつたということです。また県からも質問内容についての発表はありましたけれども、一見知事の発言等についての県議会としての受け止めだったり評価であつたりということをお聞かせいただけますでしょうか。

(議長) 今回、報道でいろいろ聞いている限りですけれども、知事会議として、当然、今、人口減少に関しても、しっかり国でそういった部署を作ってやっていくべきだということ、そういったコントロールできる、しっかり司令塔がいるんだということを知事も言われていますし、全国知事会議でもそういう議論になったと聞いておりますので、そのことは非常に重要なことなのかなと思っています。

(質問) 分かりました。ありがとうございます。他に各社ございますでしょうか。では各社からの質問はこれで終わらせていただきます。ありがとうございました。

(議長) ありがとうございました。

(以 上) 10時52分 終了